

## 7 コイヘルペスウイルス病をまん延させないために

コイヘルペスウイルス病は、ウイルスをもった魚との水を介しての接触によって感染します。以下のよう  
なことに気をつけて、ウイルスのまん延を防止しましょう。

### (1) 日常の飼育

飼育しているコイについて、健康でストレスの少ない飼育環境をつくりましょう。斃死魚の数や水温、コイの餌の食いの状況などの飼育の記録をつけましょう。毎日の観察でコイヘルペスウイルスを疑わせるような異常が見られた場合は、水産試験場などに相談しましょう。

### (2) コイの購入などについて

- ①コイヘルペスウイルス病の発生が疑われる地域から、コイを入れることはやめましょう。
- ②施設や環境に余裕がある場合は、18～23℃以上で2～3週間(潜伏期間)別な場所でコイを飼育し、斃死などの異常のないことを確認してから入れるとより安心です。
- ③河川や池などから釣ってきたコイを持ち帰ったり、自宅で飼っていたコイを河川や池などに放流することはやめましょう。**都内の一般河川等においてコイの放流や持ち出しを禁止する委員会指示が東京都内水面漁場管理委員会より出されています。**

### (3) コイを取り扱った後の消毒について

- ①河川などの監視・斃死魚回収業務などにあたられる方へ  
同一の川でも作業の場所ごとに作業用具、手袋、長靴などの消毒を行うようにしてください。特に複数の河川にまたがって作業をする場合には、ウイルスの持込を防止するために移動前に消毒を行うなど、特にご注意ください。
- ②釣堀・池などでコイを取り扱う方へ  
KHV 病の疑いのあるコイを取り扱った場合は、手指や使った機材などの消毒を行うようにしてください。

### (4) 消毒方法

- ①手指・小型器具類・コイの入ったビニール袋の外側などの消毒  
感染したコイに触ったり、飼育水などに触れた手は 70%(濃度以上の)アルコールで消毒してください。他に小型の器具や・コイの入ったビニール袋の外側の消毒などにも使用することができます。70%アルコールはあらかじめ小型スプレーなどに入れておき、必要な箇所に噴霧して使用すると便利です。(※可燃性のため火気に注意すること。)  
(参考)消毒用アルコール 80%(日本薬局方 76.9～81.4) 5リットル 8000 円程度
- ②長靴・水槽・コンテナなどの消毒  
タモ網や水槽・コンテナなど死魚の回収などで使用した機材など、消毒面積の広いものには、逆性石けん(成分:塩化ベンザルコニウム(※))による消毒(希釈水溶液への浸漬や噴霧器などによる消毒)が効果的です。死魚回収などで毎日使用するものがある場合は、逆性石け

んによる消毒槽を準備しておき、使用後に漬けるようにすると便利です。ただし、消毒液の汚れがひどくなると消毒効果が減少するので、新たに作り直してください。消毒後、機材はよく水ですすぐようにしてください。また、薬剤の用法・用量をよく読んでお使いください。

※塩化ベンザルコニウム 10%製剤で 100～200 倍希釈

### ③飼育水などの消毒

飼育水など多量の水の消毒には塩素消毒を行います。有機物を多く含む濁った池などでは塩素濃度を調整して薬剤を投入する必要があります。また、消毒の終わった後には、塩素の中和が必要となります。また、消毒・中和した排水を下水道へ流す場合、下水排除基準の遵守、一時使用届出などの手続きが必要となる場合がありますので、事前に、23 区内の事業者は、下水道局業務部排水指導課に、多摩地区内の事業者は、市町村の下水道を担当する課に、連絡する必要があります。池や飼育水の消毒に当たっては、必ず島しょ農林水産総合センターにご相談ください。